

岩泉町 橋梁長寿命化修繕計画

令和5年3月（令和8年7月 一部改訂）

岩泉町

目 次

1. 長寿命化修繕計画の目的	1
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	2
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	12
4. 次回点検時期及び修繕内容・時期又は架け替え時期	13
5. 長寿命化修繕計画による効果	14
6. 費用の縮減に関する具体的な方針	15
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した学識経験者	16

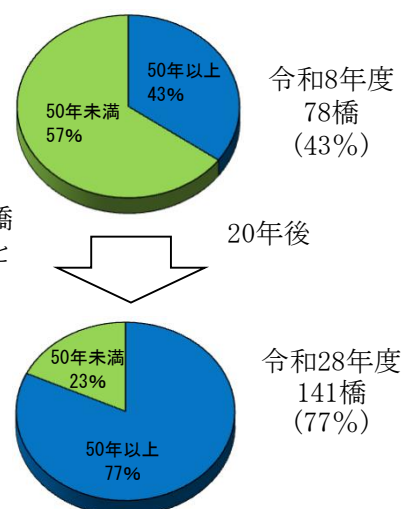
1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

岩泉町が管理する橋梁は、2026年度（4月1日現在）現在で183橋架設されています。

現時点で建設後50年を経過する橋梁は全体の43%程度であり、20年後の2046年度には77%程度に増加するため、これらの道路橋の老朽化が進行し、一斉に大規模な修繕や更新時期を迎えることが想定されます。

これらの高齢化を迎える橋梁に対して、従来の事後保全型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕や架け替えに要する費用が増大することが懸念されます。



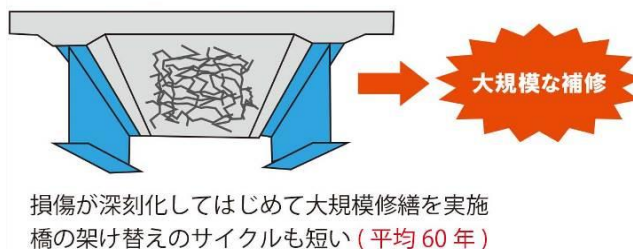
2) 目的

このような背景から、計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

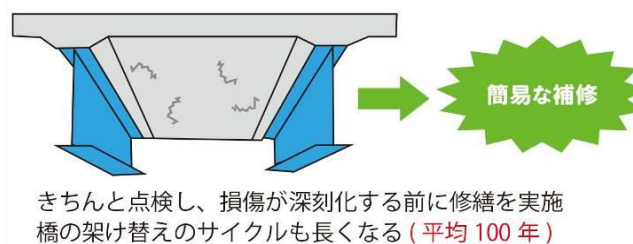
コスト縮減のためには、従来の事後保全型から、「損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う」予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで岩泉町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るため、橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。

事後保全 コンクリートのひびわれが深刻



予防保全 点検により、コンクリートに軽微なひびわれを発見



2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

1) 対象橋梁数

長寿命化修繕計画の対象とする管理橋梁は、「表2-1 長寿命化修繕計画対象橋梁数」に示すとおり、183橋となります。今後順次、定期点検実施後に計画を策定します。

表2-1 長寿命化修繕計画対象橋梁数

	町道 1級	町道 2級	町道 その他	合計
全管理橋梁数（計画策定橋梁数）	31	61	91	183

2) 対象橋梁の概要

対象橋梁の概要として、「図2-3 対象橋梁の諸元一覧表」に示すとおり、1960年代から1980年代に多くの橋梁が建設され、橋種ではRC橋が最も多い形式となっております。

3) 健全度評価

対象橋梁の健全度評価として、「表2-2 健全度評価」に示すとおり、健全度区分Ⅲ判定は10橋あり、道路橋の機能に支障が生じる可能性があるため早期に対応する必要がありますが、Ⅲ判定の橋梁10橋中、下記の4橋は対策工事を施工済みであることから、実質6橋の対策が必要です。

表2-2 健全度評価

橋梁数	健全度区分：Ⅰ (修繕等が当面不要)	健全度区分：Ⅱ (予防的修繕が必要)	健全度区分：Ⅲ (早期に対応が必要)	健全度区分：Ⅳ (緊急に対応が必要)
183	95	78	10	0

Ⅲ判定橋梁で対策工事施工済の橋梁

橋梁名	路線名	路線等級	工事施工年度
笹平橋	奥岩泉線	1 級	2024～2025年度
鼠入川橋	鼠入川線	1 級	2025年度
追庭橋	笹平線	1 級	2025年度
名目入橋	名目入中瀬線	その他	2025年度

長寿命化修繕計画の対象橋梁の諸元一覧表を表2-3 に示す。

表2-3 対象橋梁の諸元一覧表(1)

番号	点検 年度	施設名	路線名	形式 (上段：上部工、 下段：下部工)	橋長 (m)	径間数	全幅員 (m)	有効 幅員 (m)	架設 年度	路下 条件	路線 等級	判定 区分	次回 点検 年度 (予定)
1	2024	クリヤドバシ 栗宿橋	早坂1号線	鋼I桁 重力式橋台	30.0	1	4.8	4.0	1972	河川	1級	Ⅲ	2029
2	2025	ミツクリバシ みちつくり橋	奥岩泉線	鋼I桁 重力式橋台	14.4	1	5.6	4.6	1967	河川	1級	Ⅲ	2030
3	2025	オイデバシ 追庭橋	笹平線	RCT桁 重力式橋台	14.7	1	4.6	4.0	1968	河川	1級	Ⅲ	2030
4	2025	ソイガワバシ 鼠入川橋	鼠入川線	鋼H桁 重力式橋台	53.4	2	5.2	4.0	1964	河川	1級	Ⅲ	2030
5	2021	ササタイバシ 笹平橋	奥岩泉線	鋼I桁 重力式橋台	14.4	1	5.2	4.6	1968	河川	1級	Ⅲ	2026
6	2025	オサワケチチノハシ 大沢口一の橋	大沢口鼠入線	鋼I桁 重力式橋台	13.5	1	4.6	4.0	1966	河川	2級	Ⅲ	2030
7	2025	オマルベイチノハシ 尾丸部一の橋	尾丸部線	鋼H桁 重力式橋台	10.4	1	4.8	4.0	1978	河川	2級	Ⅲ	2030
8	2025	サカエハシ 栄橋	岩泉大通線	RCアーチ、鋼H桁 その他コンクリート橋台	19.8	1	7.5	6.5	1934	河川	その他	Ⅲ	2030
9	2024	ニシヨウシバシ 二升石橋	二升石尼額1号線	RC桁 重力式橋台	80.0	5	4.3	3.6	1954	河川	2級	Ⅲ	2029
10	2024	ナメリバシ 名目入橋	名目入中瀬線	RC桁 重力式橋台	17.5	1	7.8	7.0	1933	河川	その他	Ⅲ	2029
11	2025	オリカベグチバシ 折壁口橋	奥岩泉線	鋼H桁 重力式橋台	12.4	1	4.7	4.0	1965	河川	1級	Ⅱ	2030
12	2021	シモクリヤドバシ 下栗宿橋	早坂1号線	鋼H桁 重力式橋台	13.1	1	4.8	4.0	1972	河川	1級	Ⅱ	2026
13	2025	オチアイハシ 落合橋	中沢線	鋼I桁 重力式橋台	10.4	1	4.8	4.0	1970	河川	2級	Ⅱ	2030
14	2021	カミクリヤドバシ 上栗宿橋	早坂1号線	RCH桁 重力式橋台	13.1	1	4.8	4.0	1971	河川	1級	Ⅱ	2026
15	2025	トウツキサワバシ 洞突沢橋	奥岩泉線	鋼H桁 重力式橋台	12.4	1	6.2	5.5	1967	河川	2級	Ⅱ	2030
16	2025	タツキサワバシ たかつき沢橋	奥岩泉線	鋼H桁 重力式橋台	12.5	1	5.2	4.6	1968	河川	2級	Ⅱ	2030
17	2021	ナクリヤドバシ 中栗宿橋	早坂1号線	鋼H桁 重力式橋台	12.1	1	4.8	4.0	1971	河川	1級	Ⅱ	2026
18	2025	オヤチハシ 大谷地橋	内の沢線	PC床版桁 重力式橋台	3.6	1	6.8	6.0	1977	河川	1級	Ⅱ	2030
19	2025	サイノカミハシ 妻の神橋	奥岩泉線	PC床版桁 逆T式橋台	19.8	1	6.4	5.1	1992	河川	1級	Ⅱ	2030
20	2024	シモワタリバシ 下渡橋	奥岩泉線	鋼I桁 重力式橋台	16.4	1	5.3	4.6	1966	河川	2級	Ⅱ	2029
21	2024	ダイミヨウジノバシ 大明神橋	奥岩泉線	鋼I桁 重力式橋台	18.3	1	5.3	4.6	1966	河川	2級	Ⅱ	2029
22	2025	オホリナイザワバシ 大堀内沢橋	奥岩泉線	鋼H桁 重力式橋台	10.4	1	5.4	4.6	1966	河川	2級	Ⅱ	2030
23	2024	オサカモトバシ 大坂本橋	奥岩泉線	鋼I桁 重力式橋台	16.4	1	5.3	4.6	1966	河川	2級	Ⅱ	2029

表2-3 対象橋梁の諸元一覧表(2)

番号	点検 年度	施設名	路線名	形式 (上段：上部工、 下段：下部工)	橋長 (m)	径間数	全幅員 (m)	有効 幅員 (m)	架設 年度	路下 条件	路線 等級	判定 区分	次回 点検 年度 (予定)
24	2025	サカシタハシ 坂の下橋	小成外川目線	RC床版桁 重力式橋台	12.5	1	4.8	4.0	1977	河川	その他	Ⅱ	2030
25	2025	テングハシ 天狗畑四の橋	天狗畑線	鋼H桁 重力式橋台	8.2	1	4.8	4.0	1981	河川	2級	Ⅱ	2030
26	2025	ネネイチハシ 年々一の橋	年々線	鋼H桁 重力式橋台	7.1	1	4.8	4.0	1977	河川	2級	Ⅱ	2030
27	2025	オマルベニハシ 尾丸部二の橋	尾丸部線	RC床版桁 重力式橋台	4.4	1	6.8	6.0	1978	河川	2級	Ⅱ	2030
28	2025	アオシカハシ 青鹿橋	青鹿2号線	RCBOXカルバート	2.3	1	9.5	7.8	1965	河川	2級	Ⅱ	2030
29	2024	オオカワハシ 大川橋	刈屋沢長田線	鋼H桁 重力式橋台	38.0	2	4.6	4.0	1966	河川	2級	Ⅱ	2029
30	2024	イシバタハシ 石畑橋	石畑線	鋼H桁 逆T式橋台	29.5	1	4.4	3.6	1972	河川	2級	Ⅱ	2029
31	2025	テングハシ 天狗畑五の橋	天狗畑線	鋼H桁 重力式橋台	7.1	1	4.8	4.0	1981	河川	2級	Ⅱ	2030
32	2025	ソトカワメハシ 外川目橋	小成外川目線	鋼H桁 重力式橋台	10.4	1	4.7	4.0	1969	河川	その他	Ⅱ	2030
33	2025	イワイハシ 祝橋	茂井1号線	RC床版桁 重力式橋台	7.0	1	7.0	6.0	1979	河川	2級	Ⅱ	2030
34	2025	ウエノハシ 上野橋	二升石尼額2号線	RC床版桁 重力式橋台	6.5	1	4.6	4.0	1971	河川	2級	Ⅱ	2030
35	2025	カサガハシ 春日橋	見内川線	RC床版桁 重力式橋台	8.4	1	4.6	4.0	1973	河川	2級	Ⅱ	2030
36	2025	カミサルサハシ 上猿沢橋	メズクメ線	RC床版桁 重力式橋台	5.0	1	4.7	4.3	1965	河川	2級	Ⅱ	2030
37	2025	タバタニハシ 田畑2の橋	田畑線	RC床版桁 重力式橋台	7.1	1	3.8	3.0	1990	河川	その他	Ⅱ	2030
38	2024	シモヨコミチハシ 下横道橋	横道1号線	鋼H桁 重力式橋台	20.0	1	37.0	3.0	1971	河川	その他	Ⅱ	2029
39	2025	タヤマチノハシ 田山1-2橋	田山線	鋼H桁 重力式橋台	6.0	1	4.0	3.5	2003	河川	その他	Ⅱ	2030
40	2021	ヒラキハシ ひらき橋	上有芸水堀線	RC床版桁 重力式橋台	10.7	1	7.2	6.4	1963	河川	その他	Ⅱ	2026
41	2021	ホロワタハシ 褰綿橋	褰綿線	RC床版桁 重力式橋台	10.5	1	9.3	8.5	1974	河川	その他	Ⅱ	2026
42	2021	カミチャヤハシ 上茶屋橋	安念線	RC床版桁 重力式橋台	8.4	1	7.4	6.6	1977	河川	その他	Ⅱ	2026
43	2021	イナリハシ 稲荷橋	上見内川線	RC床版桁 重力式橋台	7.4	1	4.5	4.0	1965	河川	その他	Ⅱ	2026
44	2025	マツヤシキハシ 松屋敷橋	永佛線	鋼H桁 重力式橋台	7.0	1	4.0	3.7	2009	河川	その他	Ⅱ	2030

表2-3 対象橋梁の諸元一覧表(3)

番号	点検 年度	施設名	路線名	形式 (上段：上部工、 下段：下部工)	橋長 (m)	径間数	全幅員 (m)	有効 幅員 (m)	架設 年度	路下 条件	路線 等級	判定 区分	次回 点検 年度 (予定)
45	2021	カミカサキバシ 上川崎橋	川崎線	RC床版桁 重力式橋台	8.5	1	4.7	4.0	1966	河川	その他	Ⅱ	2026
46	2021	イワカミバシ 岩谷上橋	早坂高原線	PC床版桁 重力式橋台	9.6	1	14.7	13.5	1967	河川	その他	Ⅱ	2026
47	2025	タヤマイチノイチバシ 田山1-1橋	田山線	PC床版桁 重力式橋台	10.5	1	3.6	3.0	1997	河川	その他	Ⅱ	2030
48	2025	ヒナタバシ 日向橋	松ヶ沢日向線	鋼H桁 重力式橋台	13.6	1	4.4	3.6	1965	河川	2級	Ⅱ	2030
49	2025	ワタバシ 和田橋	松橋分校線	RC床版桁 重力式橋台	13.5	1	4.8	4.0	1978	河川	その他	Ⅱ	2030
50	2025	モミヤバシ 本宮橋	乙茂1号線	PCT桁 逆T式橋台	26.0	2	8.0	6.4	1965	河川	その他	Ⅱ	2030
51	2021	オサナイバシ 長内橋	長内中野線	RC床版桁 重力式橋台	5.5	1	7.3	6.5	1971	河川	その他	Ⅱ	2026
52	2024	ヒツナワシロバシ 一ツ苗代橋	一ツ苗代日蔭線	PC桁 逆T式橋台	51.8	2	4.8	4.0	1974	河川	その他	Ⅱ	2029
53	2025	ミタイバシ 三田市橋	三田市・袋野線	RCI桁 重力式橋台	25.3	3	6.3	5.5	1958	河川	その他	Ⅱ	2030
54	2024	ミナミサワバシ 南沢橋	南沢線	鋼I桁 重力式橋台	20.0	1	3.9	3.1	1969	河川	その他	Ⅱ	2029
55	2025	ハヤサカバシ 早坂橋	早坂高原線	PC床版桁 重力式橋台	7.5	1	12.7	11.5	1953	河川	その他	Ⅱ	2030
56	2025	ジョウガサワバシ 丈ヶ沢橋	南沢線	RCH桁 重力式橋台	8.0	1	3.8	3.0	1975	河川	その他	Ⅱ	2030
57	2021	ミズボリニハシ 水堀二の橋	上有芸水堀線	RCBOXカルバート	4.7	1	16.0	5.2	1986	河川	その他	Ⅱ	2026
58	2021	ヘンジョウシイハシ 辺城子一の橋	安家日向2号線	RC床版桁 重力式橋台	11.7	1	6.3	5.5	1963	河川	その他	Ⅱ	2026
59	2024	イシクロバシ 石黒橋	上有芸水堀線	PC床版桁 重力式橋台	16.9	2	6.2	5.0	1965	河川	その他	Ⅱ	2029
60	2021	ミナミサシモバシ 南沢下橋	南沢線	RCT桁 重力式橋台	10.0	1	3.8	3.0	1975	河川	その他	Ⅱ	2026
61	2021	サツクメバシ サツクメ橋	新田線	RCBOXカルバート	2.2	1	6.5	3.4	1970	河川	その他	Ⅱ	2026
62	2021	オサニニハシ 長内二の橋	小本駅西2号線	RCBOXカルバート	10.4	1	17.1	8.2	2015	河川	その他	Ⅱ	2026
63	2025	イズミサワバシ 泉沢橋	袋綿裏町線	PC床版桁 重力式橋台	15.5	1	3.8	3.0	1986	河川	その他	Ⅱ	2030
64	2024	タナイルカイバシ 谷内向橋	谷内向1号線	鋼H桁 重力式橋台	34.0	1	4.8	4.0	1977	河川	その他	Ⅱ	2029
65	2021	クニミハシ 国見橋	国見線	RCI桁 重力式橋台	14.6	1	6.2	5.6	1957	河川	その他	Ⅱ	2026

表2-3 対象橋梁の諸元一覧表(4)

番号	点検 年度	施設名	路線名	形式 (上段：上部工、 下段：下部工)	橋長 (m)	径間数	全幅員 (m)	有効 幅員 (m)	架設 年度	路下 条件	路線 等級	判定 区分	次回 点検 年度 (予定)
66	2021	ネンネノハシ 年々2の橋	年々田代線	RC床版桁 重力式橋台	8.1	1	6.2	5.0	1987	河川	その他	Ⅱ	2026
67	2025	マツハシイゴウハシ 松橋1号橋	褒綿松橋線	RC床版桁 重力式橋台	11.5	1	8.1	6.9	2000	河川	その他	Ⅱ	2030
68	2024	コタキハシ 小滝橋	名目入中瀬線	RC桁 重力式橋台	28.6	3	6.5	5.7	1960	河川	その他	Ⅱ	2029
69	2025	シモダハシ 下田橋	二升石下田線	RCラーメン桁 その他橋台	2.3	1	5.3	4.8	1980	河川	その他	Ⅱ	2030
70	2021	ミズカミイハシ 水上一の橋	水上線	RCBOXカルバート	3.3	1	10.5	7.0	1996	河川	その他	Ⅱ	2026
71	2024	カトハシ 門橋	小川大通り線	(車)RCT桁、(歩)PC中空床版 (車、歩)重力式橋台	16.4	(歩)1 (車)3	8.8	8.2	1961	河川	その他	Ⅱ	2029
72	2024	ササキテグチハシ ささぎて口橋	奥岩泉線	鋼Ⅰ桁 重力式橋台	18.8	1	5.2	4.6	1968	河川	2級	Ⅱ	2029
73	2024	ナカサトハシ 中里橋	中里線	鋼H桁 重力式橋台	183.1	6	4.8	4.0	1976	河川	1級	Ⅱ	2029
74	2025	タカハシ 高橋	鼠入川線	RC床版桁 逆T式橋台	14.4	1	7.2	6.0	1985	河川	1級	Ⅱ	2030
75	2024	ウチノサワオハシ 内ノ沢大橋	内の沢線	PC床版桁 逆T式橋台	114.8	3	9.7	8.5	2009	河川	1級	Ⅱ	2029
76	2024	メダキハシ 女滝橋	内の沢線	PCT桁 逆T式橋台	27.8	1	9.6	8.4	2010	河川	1級	Ⅱ	2029
77	2024	カミカトハシ 上門橋	中沢線	鋼H桁 重力式橋台	21.2	2	5.9	5.0	1965	河川	1級	Ⅱ	2029
78	2025	ヒカゲハシ 日影橋	二升石尼額1号線	鋼H桁(合成) 逆T式橋台	45.6	2	4.2	3.0	2020	河川	2級	Ⅱ	2030
79	2024	ツキノキハシ 槻の木橋	長下線	鋼Ⅰ桁 重力式橋台	19.9	1	4.8	4.0	1970	河川	2級	Ⅱ	2029
80	2024	ソツコウリハシ 卒郡橋	小成卒郡線	鋼H桁 逆T式橋台	151.3	4	4.8	4.0	1973	河川	2級	Ⅱ	2029
81	2024	ヒジグスハシ 肘葛橋	長下線	鋼H桁 重力式橋台	27.5	1	5.6	4.6	1976	河川	2級	Ⅱ	2029
82	2025	コウロハシ 鉦炉橋	小成外川目線	RC床版桁 重力式橋台	12.5	1	4.8	4.0	1977	河川	2級	Ⅱ	2030
83	2025	コウロニゴウキョウ 鉦炉2号橋	小成外川目線	RCBOXカルバート	3.3	1	6.5	5.9	1965	河川	2級	Ⅱ	2030
84	2025	ハヤシノシタハシ 林の下橋	岸中島線	RCBOXカルバート	3.7	1	5.2	4.8	1965	河川	2級	Ⅱ	2030
85	2025	イイトウゲハシ 雷峠橋	雷峠線	RC床版桁 重力式橋台	13.5	1	5.8	5.0	2002	河川	2級	Ⅱ	2030
86	2025	ヨミチハシ 横道橋	下見内川1号線	RCⅠ桁 重力式橋台	16.8	2	7.8	7.0	1964	河川	その他	Ⅱ	2030

表2-3 対象橋梁の諸元一覧表(5)

番号	点検 年度	施設名	路線名	形式 (上段：上部工、 下段：下部工)	橋長 (m)	径間数	全幅員 (m)	有効 幅員 (m)	架設 年度	路下 条件	路線 等級	判定 区分	次回 点検 年度 (予定)
87	2024	カサキバシ 川崎橋	川崎線	鋼H桁 重力式橋台	41.4	3	4.7	4.0	1966	河川	その他	Ⅱ	2029
88	2025	ゴンゲンバシ 権現橋	権現線	RCT桁 重力式橋台	16.7	1	5.0	4.0	1980	河川	その他	Ⅱ	2030
89	2024	フルタバシ 古田橋	小本中野線	RC桁 重力式橋台	11.0	1	4.8	4.4	1965	河川	1級	Ⅰ	2029
90	2024	タルミズサワバシ 垂水沢橋	大向線	鋼H桁 重力式橋台	25.9	1	4.4	3.6	1969	河川	その他	Ⅰ	2029
91	2024	コシバシ 小端橋	奥岩泉線	鋼H桁 半重力式橋台	16.5	1	4.7	4.0	1969	河川	2級	Ⅰ	2029
92	2024	オサダバシ 長田橋	刈屋沢長田線	鋼桁 重力式橋台	35.9	2	4.7	4.0	1968	河川	2級	Ⅰ	2029
93	2025	シモゴンゲンバシ 下権現橋	権現線	RCT桁 重力式橋台	5.3	1	7.0	6.5	1965	河川	その他	Ⅰ	2030
94	2025	カミカラバシ 上川原橋	永佛線	RC床版桁 重力式橋台	6.3	1	4.5	4.0	1987	河川	その他	Ⅰ	2030
95	2025	ムカイバシ 向橋	南沢線	RC床版桁 重力式橋台	5.6	1	8.9	7.6	1987	河川	その他	Ⅰ	2030
96	2025	ナカザワイチバシ 中沢一の橋	中沢線	PC床版桁 重力式橋台	13.6	1	6.2	5.0	1987	河川	1級	Ⅰ	2030
97	2025	ヤマヤグチバシ 山屋口橋	鼠入川線	RC床版桁 逆T式橋台	6.0	1	6.0	5.0	1981	河川	1級	Ⅰ	2030
98	2024	シモカラバシ 下河原橋	奥岩泉線	PC床版桁 重力式橋台	17.0	1	6.4	5.2	1991	河川	1級	Ⅰ	2029
99	2024	サンノクバシ 三の渡橋	奥岩泉線	PC床版桁 逆T式橋台	27.0	1	11.5	10.5	1996	河川	1級	Ⅰ	2029
100	2024	タテイシバシ たていし橋	奥岩泉線	PC床版桁 逆T式橋台	20.1	1	10.2	9.0	1996	河川	1級	Ⅰ	2029
101	2024	ニノクバシ 二の渡橋	奥岩泉線	PC床版桁 逆T式橋台	31.2	1	12.0	11.0	1998	河川	1級	Ⅰ	2029
102	2024	イチノクバシ 一の渡橋	奥岩泉線	PC床版桁 重力式橋台	25.5	1	11.5	10.5	1999	河川	1級	Ⅰ	2029
103	2024	アライクバシ 洗渡橋	奥岩泉線	PC桁 逆T式橋台	20.1	1	10.2	9.0	1999	河川	1級	Ⅰ	2029
104	2025	コバシ 小橋	小本中野線	RCBOXカルバート	12.1	1	6.2	5.0	2005	河川	1級	Ⅰ	2030
105	2021	ハグロバシ 羽黒橋	奥岩泉線	鋼Ⅰ桁 重力式橋台	14.4	1	5.3	4.7	1968	河川	1級	Ⅰ	2026
106	2024	カミソリガクバシ 上鼠入川橋	鼠入川線	鋼Ⅰ桁 重力式橋台	17.3	1	4.8	4.0	1962	河川	1級	Ⅰ	2029
107	2025	ジウモンジバシ 十文字橋	中沢線	RC床版桁 重力式橋台	12.4	1	7.2	6.0	1988	河川	1級	Ⅰ	2030

表2-3 対象橋梁の諸元一覧表(6)

番号	点検 年度	施設名	路線名	形式 (上段：上部工、 下段：下部工)	橋長 (m)	径間数	全幅員 (m)	有効 幅員 (m)	架設 年度	路下 条件	路線 等級	判定 区分	次回 点検 年度 (予定)
108	2021	ナカザ ワニノハシ 中沢二の橋	中沢線	PC床版桁 重力式橋台	11.6	1	6.2	5.0	1987	河川	1級	I	2026
109	2024	ミナイカワハシ 見内川橋	見内川線	鋼I桁 重力式橋台	15.3	1	4.7	4.0	1967	河川	2級	I	2029
110	2024	オオサワグチハシ 大沢口橋	大沢口鼠入線	鋼H桁 重力式橋台	54.0	2	5.0	4.2	1972	河川	2級	I	2029
111	2025	オオサワグチサンノハシ 大沢口三の橋	大沢口鼠入線	RC床版桁 重力式橋台	13.5	1	4.8	4.0	1976	河川	2級	I	2030
112	2025	ナガシタイチノハシ 長下一の橋	長下線	RC床版桁 重力式橋台	4.1	1	4.4	4.0	1965	河川	2級	I	2030
113	2021	ハマサカグチハシ 浜坂口橋	年々線	RCBOXカルバート	3.4	1	4.6	4.0	1977	河川	2級	I	2026
114	2021	ウエノサワハシ 上の沢橋	年々線	RCBOXカルバート	2.9	1	5.0	4.4	1977	河川	2級	I	2026
115	2025	テングハタニノハシ 天狗畑二の橋	天狗畑線	RC床版桁 重力式橋台	10.0	1	4.9	4.1	1980	河川	2級	I	2030
116	2025	テングハタサンノハシ 天狗畑三の橋	天狗畑線	RC床版桁 重力式橋台	9.5	1	4.8	4.0	1980	河川	2級	I	2030
117	2025	オオイハシ 大石橋	中沢線	RC床版桁 重力式橋台	8.5	1	4.8	4.0	1980	河川	2級	I	2030
118	2021	ナカクラヨシノハシ 中倉四の橋	中倉線	RCBOXカルバート	4.1	1	7.9	6.0	1997	河川	2級	I	2026
119	2021	ハンジヨウシチノハシ 半城子一の橋	半城子線	RCBOXカルバート	3.8	1	7.3	3.9	1982	河川	2級	I	2026
120	2025	ナカクライチノハシ 中倉一の橋	中倉線	RC床版桁 逆T式橋台	10.0	1	7.1	5.9	1993	河川	2級	I	2030
121	2025	ナカクラニノハシ 中倉二の橋	中倉線	RC床版桁 重力式橋台	10.6	1	6.3	5.1	1994	河川	2級	I	2030
122	2024	タキノハシ 滝野橋	松野松橋線	PCT桁 逆T式橋台	15.0	1	9.4	5.7	2000	河川	2級	I	2029
123	2025	マツノハシ 松野橋	松野松橋線	PC床版桁 逆T式橋台	14.0	1	9.3	8.1	2002	河川	2級	I	2030
124	2025	メンズクメイチノハシ メンズクメ一の橋	メンズクメ線	PC床版桁 逆T式橋台	14.0	1	6.7	5.5	2009	河川	2級	I	2030
125	2024	サワマリハシ 沢廻橋	沢廻線	PC床版桁 重力式橋台	15.6	1	4.8	4.0	1973	河川	2級	I	2029
126	2025	オオサワグチニノハシ 大沢口二の橋	大沢口鼠入線	RC床版桁 重力式橋台	13.3	1	4.8	4.0	1974	河川	2級	I	2030
127	2025	テングハタイチノハシ 天狗畑一の橋	天狗畑線	RC床版桁 重力式橋台	9.5	1	4.8	4.0	1980	河川	2級	I	2030
128	2021	ハンジヨウシニノハシ 半城子二の橋	半城子線	RCBOXカルバート	2.7	1	8.7	4.2	1982	河川	2級	I	2026

表2-3 対象橋梁の諸元一覧表(7)

番号	点検 年度	施設名	路線名	形式 (上段：上部工、 下段：下部工)	橋長 (m)	径間数	全幅員 (m)	有効 幅員 (m)	架設 年度	路下 条件	路線 等級	判定 区分	次回 点検 年度 (予定)
129	2024	メンス クメニハシ メンスクメニの橋	メンスクメ線	鋼H桁 逆T式橋台	16.2	1	6.6	5.3	1984	河川	2級	I	2029
130	2025	コガ ワハラハシ 小川原橋	石畑線	RCBOXカルバート	4.5	1	9.0	8.0	1986	河川	2級	I	2030
131	2025	オリカベ ボックス 折壁ボックス	奥岩泉線	RCBOXカルバート	4.1	1	11.4	9.5	2000	河川	1級	I	2030
132	2025	マツノマツハシセントリツケョウ 松野松橋線取付橋	松野松橋線	PC床版桁 重力式橋台	13.3	1	5.2	4.0	2002	河川	2級	I	2030
133	2024	タイラハシ 平橋	小成外川目線	PC床版桁 重力式橋台	16.3	1	5.0	4.0	1976	河川	その他	I	2029
134	2024	マツガ サワハシ 松ヶ沢橋	松ヶ沢線	鋼H桁 重力式橋台	29.7	1	5.0	4.0	1977	河川	その他	I	2029
135	2025	ナメリハシ 名目利橋	名目入日影1号線	PC床版桁 逆T式橋台	41.2	2	5.2	4.0	2023	河川	その他	I	2030
136	2021	ネンネンハシ 年々橋	年々田代線	RC床版桁 重力式橋台	8.4	1	4.8	4.0	1984	河川	その他	I	2026
137	2021	ミズボ リヨソハシ 水堀四の橋	上有芸水堀線	鋼ゲレーチング床版桁 重力式橋台	3.2	1	5.2	4.0	1985	河川	その他	I	2026
138	2021	イヌハシラハシ 犬頭橋	上有芸水堀線	RCBOXカルバート	2.4	1	6.0	5.0	1987	河川	その他	I	2026
139	2021	ネンネンソノハシ 年々3の橋	年々田代線	RC床版桁 重力式橋台	8.1	1	6.2	5.0	1988	河川	その他	I	2026
140	2024	トチノキハシ 栃の木橋	栃の木線	PC床版桁 逆T式橋台	15.6	1	5.2	4.0	1990	河川	その他	I	2029
141	2025	タハ タイチノハシ 田畑1の橋	田畑線	RCBOXカルバート	7.2	1	5.2	4.0	2021	河川	その他	I	2030
142	2021	ナツヤハシ ナツヤ橋	大向線	RC床版桁 逆T式橋台	10.0	1	4.8	3.6	1992	河川	その他	I	2026
143	2021	ミズ カミサンノハシ 水上三の橋	水上線	RCBOXカルバート	6.2	1	4.6	4.0	1996	河川	その他	I	2026
144	2021	サイノカミザワハシ オノ神沢橋	中里オノ神線	PC床版桁 逆T式橋台	15.3	1	6.2	5.0	1993	河川	その他	I	2026
145	2021	カジ カサワハシ カジカ沢橋	乙茂線	RCBOXカルバート	2.6	1	4.8	4.4	1965	河川	その他	I	2026
146	2021	コナリハシ 小成橋	小成茂師港線	RC床版桁 重力式橋台	13.5	1	5.7	5.0	1972	河川	その他	I	2026
147	2024	マツノハシ 松野橋	松野下山線	RCT桁 重力式橋台	15.0	2	7.1	6.5	1963	河川	その他	I	2029
148	2025	コガ ワハシ 小川橋	小川中学校線	PC床版桁 重力式橋台	41.5	2	4.8	4.0	1971	河川	その他	I	2030
149	2024	ヒガ サハシ 日賀崎橋	小成茂師港線	PC床版桁 重力式橋台	19.7	1	6.3	5.6	1972	河川	その他	I	2029

表2-3 対象橋梁の諸元一覧表(8)

番号	点検 年度	施設名	路線名	形式 (上段：上部工、 下段：下部工)	橋長 (m)	径間数	全幅員 (m)	有効 幅員 (m)	架設 年度	路下 条件	路線 等級	判定 区分	次回 点検 年度 (予定)
150	2024	ナメリバシ 名目入橋	名目入線	PC床版桁 重力式橋台	20.6	1	4.8	4.0	1977	河川	その他	I	2029
151	2024	サラダ イバシ 桜台橋	森山線	鋼H桁 重力式橋台	16.6	1	3.8	3.0	1978	河川	その他	I	2029
152	2021	トツカハシ 十津川橋	下岩泉2号線	RCアーチカルバート	10.0	1	4.3	3.3	推測 1986	河川	その他	I	2026
153	2021	エカワハシ 江川橋	江川線	RC床版桁 重力式橋台	8.5	1	4.8	4.0	2006	河川	その他	I	2026
154	2024	イナブチバシ 稲渕橋	稲渕線	鋼H桁 重力式橋台	50.8	2	5.3	4.1	1981	河川	その他	I	2029
155	2021	タヤハシ 田屋橋	沢村線	RCBOXカルバート	3.7	1	4.6	4.1	1982	河川	その他	I	2026
156	2021	ミズカミニハシ 水上二の橋	水上線	RCBOXカルバート	6.2	1	4.6	4.0	1996	河川	その他	I	2026
157	2021	ミズボリイナハシ 水堀一の橋	上有芸水堀線	RCBOXカルバート	4.7	1	11.0	5.6	1986	河川	その他	I	2026
158	2021	ミズボリサノハシ 水堀三の橋	上有芸水堀線	RCBOXカルバート	3.9	1	8.4	5.6	1986	河川	その他	I	2026
159	2021	ナカサトニシイゴウハシ 中里西1号橋	中里西線	PC床版桁 逆T式橋台	11.6	1	6.0	5.0	1995	河川	その他	I	2026
160	2021	タヤトウハシ 田屋峠橋	後山線	PC床版桁 逆T式橋台	5.3	1	4.7	3.5	2000	河川	その他	I	2026
161	2021	オオツビサナイカワイチゴウハシ 大津久内川1号橋	石畑西線	RC床版桁 重力式橋台	5.0	1	4.3	3.5	2009	河川	その他	I	2026
162	2021	オオツビサナイカワニコウハシ 大津久内川2号橋	石畑東線	鋼H桁 重力式橋台	4.4	1	3.7	3.1	1965	河川	その他	I	2026
163	2024	オオムカイバシ 大向橋	大向線	PC床版桁 逆T式橋台	23.6	1	6.2	5.0	2016	河川	その他	I	2029
164	2024	アカシカバシ 赤鹿橋	宮本線	PCT桁 重力式橋台	170.5	4	5.2	4.0	2022	河川	2級	I	2029
165	2024	タイショウバシ 大正橋	茂井1号線	鋼H合成桁 逆T式橋台	60.8	2	6.2	5.0	2023	河川	2級	I	2029
166	2024	ヤマドノワキバシ 山殿脇橋	小川線	PC床版桁 重力式橋台	43.2	2	5.2	4.0	2022	河川	その他	I	2029
167	2024	タナカバシ 田中橋	日影線	PC床版桁 逆T式橋台	45.8	2	5.2	4.0	2021	河川	その他	I	2029
168	2024	ホツチンザワバシ 本陣沢橋	本陣沢線	PC床版桁 逆T式橋台	45.9	2	5.2	4.0	2022	河川	その他	I	2029
169	2024	シンハシ 新橋	安家日陰1号線	鋼桁 逆T式橋台	56.3	2	7.8	7.0	2022	河川	その他	I	2029
170	2024	アツカハシ 安家橋	茂井2号線	鋼桁 逆T式橋台	53.2	2	6.2	5.0	2022	河川	2級	I	2029

表2-3 対象橋梁の諸元一覧表(9)

番号	点検 年度	施設名	路線名	形式 (上段：上部工、 下段：下部工)	橋長 (m)	径間数	全幅員 (m)	有効 幅員 (m)	架設 年度	路下 条件	路線 等級	判定 区分	次回 点検 年度 (予定)
171	2024	ナカハシ 中の橋	安家中の橋線	鋼床版桁 逆T式橋台	56.3	2	2.8	2.0	2022	河川	その他	I	2029
172	2024	タナムカイニゴウハシ 谷内向2号橋	谷内向1号線	RCラーメン桁 その他コンクリート橋台	2.3	1	7.0	4.0	推測 1994	河川	その他	I	2029
173	2024	ヨコミチイゴウハシ 横道1号橋	下見内川1号線	RCラーメン桁 その他コンクリート橋台	4.3	1	14.5	7.5	推測 1997	河川	その他	I	2029
174	2024	オニノホウバシ 鬼ノ久保橋	雷峠線	PC床版桁 その他コンクリート橋台	2.0	1	8.0	4.0	推測 1986	河川	2級	I	2029
175	2024	ヤマゴハシ 山五橋	小川中学校線	PC床版桁 逆T式橋台	41.0	2	2.5	1.5	2023	河川	その他	I	2029
176	-	アマヒタイバシ 尼額橋	尼額有芸線	PC床版桁 逆T式橋台	68.0	2	5.2	4.0	2025	河川	その他	-	2026
177	-	イズミバシ 泉橋	中野線	PC床版桁 逆T式橋台	64.2	2	5.2	4.0	2025	河川	その他	-	2026
178	-	シモノハシ 下の橋	向町1号線	PCBOXカルバート	20.0	1	5.2	4.0	2025	河川	その他	-	2026
179	-	オオハシ 大橋	三本松線	PCBOXカルバート	19.0	1	5.6	4.4	2025	河川	その他	-	2026
180	-	アツラハシ 阿津羅橋	中里卒郡線	RCBOXカルバート	3.4	1	10.0	4.5	2020	河川	その他	-	2026
181	-	アスカハシ 飛鳥橋(唐地橋)	唐地線	PC床版桁 逆T式橋台	35.2	2	6.2	5.0	2022	河川	その他	-	2026
182	-	サイノカミハシ オノ神橋	宮本線	PC床版桁 逆T式橋台	15.3	1	6.2	5.0	推測 1993	河川	2級	-	2026
183	-	エタイハシ 永代橋	向町2号線	角形鋼管床版桁 RC壁式橋台	16.7	1	3.6	2.0	2025	河川	その他	-	2026

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的方針

橋単位で健全性の診断を行います。また、点検に際しては「軽微な損傷」や「点検対象部材で補修が必要と判断される損傷」についても記録(損傷図・写真等)を保存します。

図3-1 対策工の判定フロー及び対策区分の判定区分

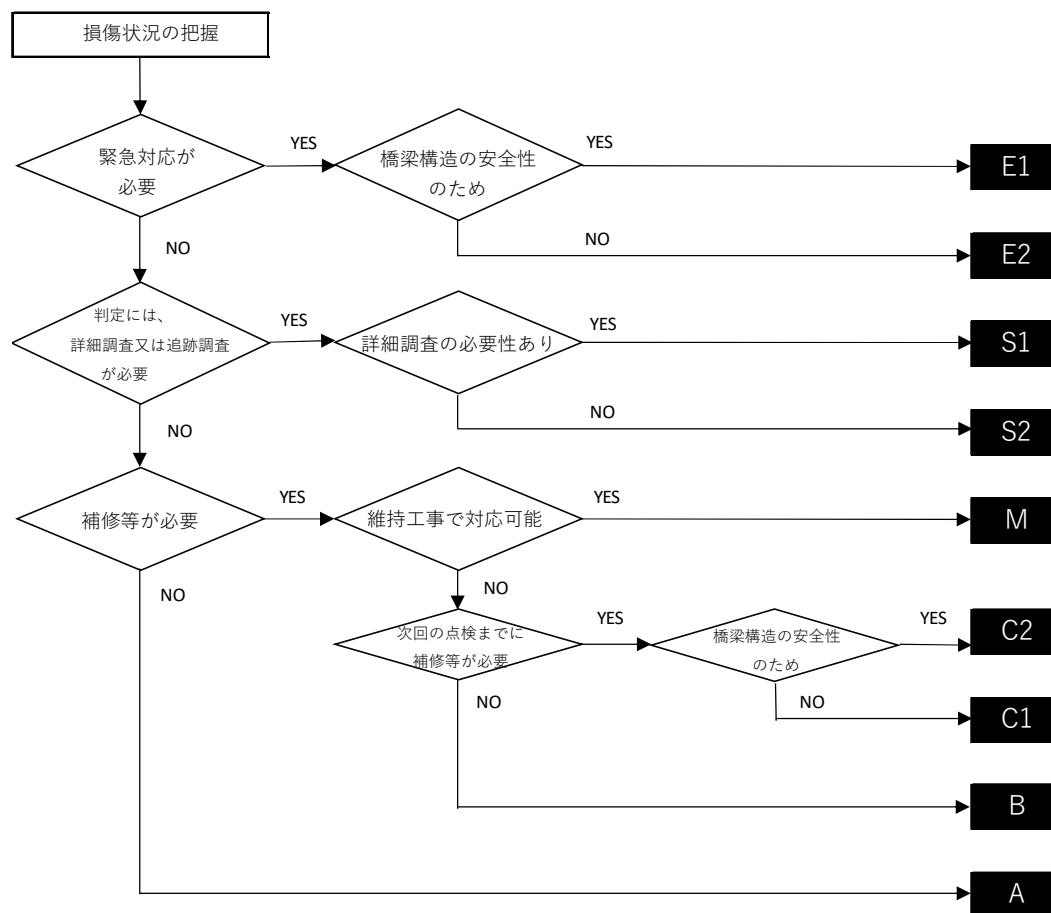


表3-2 対策判定区分

判定区分	判定の内容
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
E2	その他、緊急対応の必要がある。
M	維持工事で対応する必要がある。
S1	詳細調査の必要がある。
S2	追跡調査の必要がある。

表3-3 健全度判定区分

区分	定義
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望まし状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

※[I]: A・B、[II]: C1・M、[III]: C2、[IV]: E1・E2

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、定期パトロールや維持修繕などの実施に努め、定期点検の間も目視(可能な範囲で近接)による状況の確認を行います。維持修繕は橋梁の長寿命化につながるため路面清掃、排水施設及び橋座の土砂撤去、小規模な変形・欠損箇所の補修などの実施に努めます。

4. 次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期を表4-1 に示す。
対策の内容・時期及び概算工事費は橋梁点検調査書を基に算出しているため、補修設計時の
損傷調査や各試験による劣化原因の特定により対策項目・工事費が変更になる可能性
があります。

表4-1 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

凡例： 点検を実施すべき時期を示す。

凡例： 対策を実施すべき時期を示す。

2026年度（4月1日）現在

橋梁名	道路 等級	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	対策の内容・時期										概算 工事費 (万円)
							2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	
笹平橋	1 級	奥岩泉線	14.4	1968	58	2021	←	→	上部工鋼部材の塗替塗装, 上下部工の断面修復 等								4,241
追庭橋	1 級	笹平線	14.7	1968	58	2025		←	→	の断面修復, 伸縮装置取替 等							2,810
鼠入川橋	1 級	鼠入川線	53.4	1964	62	2025		←	→	の断面修復, 伸縮装置取替 等							1,098
栗宿橋	1 級	早坂 1 号線	30.0	1972	54	2024			←	→	上部工鋼部材の塗替塗装, 上下部工の断面修復 等						5,700
みちつくり橋	1 級	奥岩泉線	14.4	1967	59	2025			←	→	上部工鋼部材の塗替塗装, 上下部工の断面修復 等						3,400
尾丸部一の橋	2 級	尾丸部線	10.4	1978	48	2025				←	→	上部工鋼部材の塗替塗装, 上下部工の断面修復 等					4,500
栄橋	その他	岩泉大通り線	19.8	1934	92	2025				←	→	上部工鋼部材の塗替塗装, 上下部工の断面修復 等					4,000
大沢ローの橋	2 級	大沢口鼠入線	13.5	1966	60	2025				←	→	上部工鋼部材の塗替塗装, 上下部工の断面修復 等					3,300
二升石橋	2 級	二升石尼額 1 号線	80.0	1954	72	2024				←	→	上下部工の断面修復 等					200
名目入橋	その他	名目入中瀬線	17.5	1933	93	2024		←	→	上下部工の断面修復 等							176
合 計																	29,425

※1 架設年度は想定を含む。

※2 対策工事実施済みの橋梁の修繕内容・時期、架け替え時期、概算工事費は実績額とする。

※3 上記の対策が必要な橋梁の修繕内容・時期、架け替え時期、概算工事費等は詳細設計の結果や世界情勢による資材調達状況
等で変更する可能性がある。

5. 長寿命化修繕計画による効果

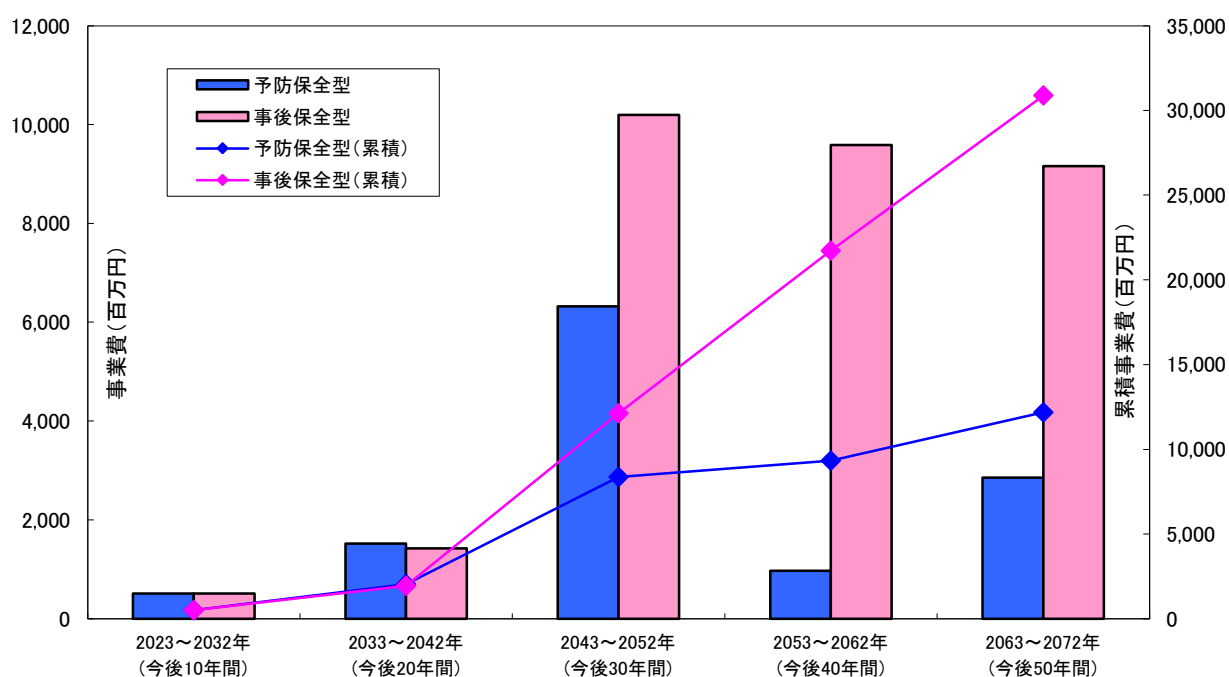
岩泉町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の約77%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100 年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコスト縮減を積極的に努めます。

さらに、補修工法についても新技術の活用を検討し、新技術の活用促進に取り組みます。

長寿命化修繕計画を策定する183橋について、図5-1 に示すとおり、今後50年間の事業費を比較すると従来の事後保全型が308.8億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が121.8億円となり、コスト縮減効果は187億円となります。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性や信頼性が確保されます。

図5-1 今後50年間の事業費



6. 費用の縮減に関する具体的な方針

1) 新技術等の活用

本計画に基づく定期点検や補修等の対策を実施するにあたり、効率的な実施内容とするため新技術や新材料の積極的な活用を検討します。

法定点検については2024年度の3巡目点検から、すべての施設において新技術の活用の検討を行うとともに、点検費用の縮減や作業の効率化が見込まれる新技術の活用を推進していきます。

これにより、3巡目点検（2024年度～2026年度）では従来点検と比較し1割程度のコスト縮減を目指します。また、修繕工事においても2028年度までに、管理する橋梁のうち10橋程度で新技術を活用し、従来技術を活用した場合と比較して維持補修費用の1割縮減を目指します。

・定期点検

国土交通省は点検に関する新技術について、平成31年2月に「新技術利用のガイドライン(案)」を策定しています。また、「点検支援技術性能カタログ」が改定されており、これらを参考に新技術の活用を積極的に検討し作業の省力化を目指します。

点検支援技術性能カタログの掲載技術から管理橋梁の定期点検に有効と考えられる技術は以下のものが挙げられます。

- ・画像計測技術（13技術）
- ・非破壊検査技術（5技術）
- ・計測、モニタリング技術（7技術）

・修繕

国土交通省は新技術に関する情報について、「新技術情報提供システム(NETIS)」を提供しています。コスト縮減や維持管理の効率化を図るため、対策工法案の比較検討において従来工法のみではなく新工法や新材料の活用、または維持管理に関する最新のメンテナンス技術の積極的な活用に努めます。

岩泉町では、最新の動向を踏まえて今後も比較検討を行っていきます。

2) 集約化や撤去

小規模橋梁（橋長5m未満）のボックスカルバート化により、維持管理費の縮減や機能縮小によるコスト縮減を図ります。

利用頻度の考慮や地元住民の意向を踏まえ、また代替路線が確保できる橋梁、修繕による延命効果が期待できない橋梁は、集約化・撤去が望ましいことも想定されるため、今後の老朽化対策に必要な費用の縮減を図ることから、社会経済情勢や施設の利用状況等の変化に応じた適切な配置のための集約化・撤去、機能縮小などを検討します。

2028年度までに、管理する橋梁のうち集約が可能な橋梁について3橋程度の集約化・撤去を検討し、維持費用を100万円程度縮減することを目標とします。

7. 計画策定担当部署及び意見聴取した学識経験者

1) 計画策定担当部署

岩泉町 地域整備課 地域整備室 TEL：0194-22-2111

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

岩手大学 理工学部：大西 弘志 教授

岩手大学 理工学部：小山田 哲也 准教授

(一財)土木研究センター 材料・構造研究部：落合 盛人 部長

岩手県 県土整備部：熊谷 利明 主任主査

